

コース1 : あらゆる補綴の歯列再建基準となる

総義歯歯列



担当講師 星 久雄

(2日間コース)

審美性と関連性の高い前歯部の歯冠形態は、スクエア、コンビネーション、テーパリングなどに分類されるが、この歯冠形態の違いにより、中切歯、側切歯、犬歯それぞれの歯軸傾斜度、捻転度、萌出位置、そして歯列の連続性はいずれも著明に異なってくる。従来からいわれてきた、男性的、女性的、顔の輪郭だけでなく、矢状面から見た上下的対向関係によって人工歯の選択基準が決まり、歯冠形態に応じた上顎前歯部歯列の特徴を表現できる人工歯の排列基準も決まることになる。

今回の実習では、前歯部は人工歯選択基準と各種歯冠形態による排列基準に基づいて排列を行い、臼歯部は4歯連結ブレード臼歯による迅速で的確な咬合構成をリングライズドオクルージョンで構成する。

- 【講義内容】・ リングライズドオクルージョンの理論的背景
- ・ 前歯形態と審美
 - ・ 咬合床の製作基準
 - ・ 顎堤条件による人工歯の選択基準
 - ・ 形態別による前歯の排列基準
 - ・ 簡便で迅速に行えるイーハクワトロブレードティースの排列基準
 - ・ 周囲組織に調和した歯肉形成
 - ・ 紙粘土を用いた安価な義歯模型製作法
 - ・ 掘り出しに簡単で安全なシリコンを応用した義歯埋没法
 - ・ 半調節性咬合器を用いた咬合調整の実際（リングライズドオクルージョン）

- 【実習】
- ・ 上下総義歯排列
 - ・ 咬合調整
 - ・ 歯肉形成

